

2017年12月6日

ノートパソコン用バッテリーパック 事故防止のための新たなリコール社告実施について

パナソニック株式会社は、2014年5月28日、11月13日および2016年1月28日に「リコール社告」を行い、ノートパソコン用バッテリーパックの無料交換・回収を実施しておりますが、リコール社告対象外のバッテリーパックにおいて、2017年に連続して発火事故が発生したため、新たなリコール社告を実施します。

発火原因の特定には至っておりませんが、事故発生が特定の製造日のバッテリーセルに集中していることから更なる事故発生を防止するため、バッテリーパックの無料交換を行います。

今回のリコール対象は、2012年2月から2014年6月に製造したノートパソコン(機種CF-SX, NX シリーズ)に同梱したバッテリーパックおよびオプション・サービス用に販売したバッテリーパック(機種CF-SX, NX, S10, N10 シリーズ用)です。

対象製品をご使用中のお客様には2018年1月下旬より交換用バッテリーパックの発送をさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、交換までの間、バッテリーパックを取り外してご使用いただきますようお願いいたします。

コンセントがない環境でお使いになり、バッテリーパックを取り外す事ができないお客様には、事故発生の危険性を低減させるために、充電制御ユーティリティ[※]をご案内させていただきます。

お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、2014年5月、同年11月および2016年1月のリコール社告において、すでに交換いただいたバッテリーパックは、そのままご使用いただけます。

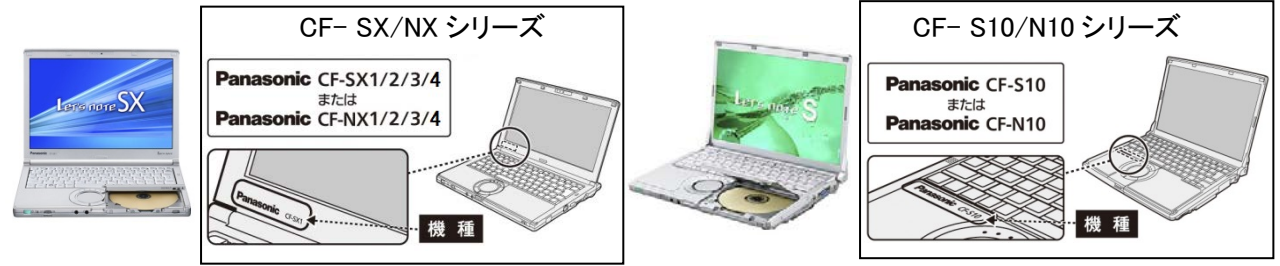
1. 対象製品および個数(全数、国内市場向けです)

機種	バッテリーパック品番	バッテリーパック製造期間	対象個数
CF-SX CF-NX	CF-VZSU75JS	2012年2月～5月	141,726 個
	CF-VZSU76JS	2012年9月～12月	
	CF-VZSU78JS	2013年2月～3月	
	CF-VZSU79JS	2014年1月～2月	
CF-S10 CF-N10	CF-VZSU61AJS	2013年12月 2014年2月	293 個
合計			142,019 個

パソコンの機種／バッテリーパックの品番とロット記号の確認方法

1)パソコンの機種の確認

パソコンの機種をご確認ください(下図参照)。



2)バッテリーパックの取り外し

パソコンの電源を切って、バッテリーパックを取り外してください。

3)バッテリーパックの品番とロット記号の確認

バッテリーパック品番とロット記号は、バッテリーパックの銘板をご確認ください。

回収対象品は、ロット記号が下記の「対象バッテリーパックの品番とロット記号」一覧に該当するものとなります。

対象バッテリーパックの品番とロット記号

CF-SX/NX シリーズ

品番 → Panasonic 品番 CF-VZSU76JS
バッテリーパック

(裏面)

ロット記号 → C25A i0500

品番	CF-VZSU75JS	CF-VZSU76JS	CF-VZSU78JS	CF-VZSU79JS
ロット記号	C2■	C2■	C2■	C2■
	C3■	C3■	C3■	C3■
	C4■	C4■	C4■	C56■
	C54■	C56■	C53■	C9R■
	C55■	C57■	C55■	C9S■
	C56■	C58■	C9V■	C9W■
	C9J■	C59■	C9W■	E1■
	C9K■	CBX■	E1■	
	C9L■	C9E■		
	CB3■	C9F■		
	CB4■	C9G■		
	CB5■	C9H■		
	D2■	C9L■		
	D33■	C9N■		
	D34■	C9P■		
	D3C■	C9V■		
	E15■	CA8■		
	E1H■	CB9■		
	E2F■	CBA■		
	E2G■	CC3■		
	E2J■	D34■		
		D35■		
		E1■		
		E2E■		
		E2F■		
		E2J■		

4桁中の上位2桁から3桁

CF-S10/N10 シリーズ

品番 → Panasonic 品番 CF-VZSU61AJS
バッテリーパック

ロット記号 → DC6B■

品番	CF-VZSU61AJS
ロット記号	DC6B E2DB
	4桁

(注) ■印は任意の英数字が入ります

2. 事故の概要

2015年10月から2017年11月にかけて発生した今回対象機種が発火・焼損事故は、以下の10件です。

No	機種品番	発生日	発生場所	被害状況	報告先
1	CF-SX1HEMDP	2015年 10月20日	東京都	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損 消火活動中に飛び散った部 品で1名火傷	消費者庁 経済産業省
2	CF-NX2JWGYS	2016年 2月29日	大阪府	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁 経済産業省
3	CF-SX2CEABR	2017年 2月5日	東京都	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁 経済産業省
4	CF-SX1VY7DC	2017年 3月10日	静岡県	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損 消火活動中に1名火傷	製品評価技術 基盤機構
5	CF-SX1GDHYS	2017年 4月5日	滋賀県	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁 経済産業省
6	CF-NX3EDGCS	2017年 6月14日	東京都	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁 経済産業省
7	CF-SX1GDHYS	2017年 7月13日	千葉県	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁 経済産業省
8	CF-SX2BEMBP	2017年 10月14日	岩手県	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁
9	CF-NX1GDHYS	2017年 10月25日	千葉県	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁
10	CF-SX1XEWHR	2017年 11月1日	東京都	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁

3. 社告に至る経緯

- (1) 2015年10月および2016年2月に事故が発生。バッテリー一部を中心に焼損があったことを確認したため、事故現品の調査、バッテリーパックの製造工程における履歴調査、再現検証など原因特定に向けた取り組みを進めましたが、原因の特定には至りませんでした。
- (2) 2017年に事故が連続して発生し、発火原因に関する調査を継続する中で、事故が集中して発生しているバッテリーセルの製造期間があることが確認されました。
- (3) 更なる事故を防止するために、新たなリコール社告の実施を決断しました。

4. 推定される発火原因

発生した10件の事故は、いずれもバッテリーセルの内部短絡により発火に至ったと判断しています。内部短絡の原因は特定に至っていませんが、バッテリーセルの製造工程において、特定の製造日に何らかの要因で異物混入などの不具合が発生し、それがバッテリーの長期使用による内圧上昇と重なり発火に至ったと推定しています。

5. 対象の特定

複数の事故が集中している期間と単発でも事故が発生した期間に製造されたバッテリーセルを使用したバッテリーパックを今回のリコールの対象としました。なお、対象となるバッテリーセルの製造日は、2011年12月から2013年11月までの一部の期間です。

6. お客様への対応

(1) 対象のバッテリーパックをお持ちのお客様には、無料でバッテリーパックの交換および回収を実施いたします。交換品がお手元に届くまでの間は、バッテリーパックを取り外してご使用いただきますようお願いいたします。

コンセントがない環境でお使いになり、バッテリーパックを取り外す事ができないお客様は、事故発生の危険性を低減させるために、充電制御ユーティリティ[※]をご案内させていただきます。

(2) 弊社ホームページでもお知らせします。

(<http://askpc.panasonic.co.jp/info/171206.html>)

(3) 本日から、フリーダイヤルにてお問い合わせをお受けします。

フリーダイヤル **0120-870-163**

受付：9時から21時（2018年1月5日まで毎日）

9時から17時（2018年1月6日以降、土、日、祝日を除く）

上記ホームページでも受付しております。

(4) 該当するバッテリーパックをお使いのお客様には、パソコン画面にリコール対象のバッテリーであることをお知らせする「緊急のお知らせ」が表示される場合があります。

※充電制御ユーティリティは、充電量を80%に制限することで、バッテリーの劣化に伴う内圧上昇を抑え、事故発生の危険性を低減することができます。

パソコンに搭載されているエコノミー（ECO）モード設定と同様です。

本充電制御によって、バッテリー駆動時間が変更前の80%になります。

本ユーティリティは2008年10月から2015年12月に発売されたレッツノート全機種に有効で、弊社ホームページからダウンロードできます。

(<http://faq.askpc.panasonic.co.jp/faq/docs/004556>)

以上